



## OKAYA

岡谷ロータリークラブ

- 会長／大橋正明
- 副会長／宮坂 伸・小口俊光
- 幹事／牛山幸一
- 会報・雑誌・広報委員長／白鳥修次

- 事務所／岡谷市中央町 1-4-12 ホテル岡谷 3F  
Tel/0266-22-6939・Fax/0266-23-6939・URL:<http://okayarc.org>・E-mail:[okayarc@amber.plala.or.jp](mailto:okayarc@amber.plala.or.jp)
- 例会／毎週火曜日 PM12:30 ホテル岡谷

## 第 2354 回例会 2007 年（平成 19 年）9 月 4 日（火）

司 会：藤森睦美 齊 唱：君が代、奉仕の理想  
点 鐘：大橋正明 ラッキーNo.：No. 4 小口俊光  
ゲ ス ト：米山奨学生 シャー・シェイレンドラー・クマーさん  
皆 勤 祝：武井利夫 35 年、濱 俊弘 27 年、宮坂宥澄 17 年  
誕 生 祝：坂井忠彦、小野 仁、佐藤有司



誕生祝

### 会長挨拶

本日は我々ロータリアンにとって大変良い日になりました。お二人の新入会員をお迎えすることが出来ました。後ほど推薦者より御紹介いただきます

8月25日から9月2日までの9日間大阪で開かれた世界陸上、8月中の競技は日本選手に期待しましたが、惨敗と言って良いと思います。大変残念でした。

しかし、9月には入って男子400mリレーでの5位、最終日過酷なレースになった女子マラソン土佐選手の3位しかも彼女の39キロから諦めなかったあの頑張りに感動しました。

長距離はエチオピア選手が目立ちました。標高2400mという高地に住み、希薄な酸素の中で育ち、心肺能力の違いをまざまざと知らされました。短距離においても、農耕民族を代表する日本選手と、アフリカなどの狩猟民族との違いでしょうか？見ていてもばねの違いが歴然としています。まるで草原を走るチーターを見ているようでした。

生まれながらにして何か決まっているものがあるのでしょうか。これがDNAなのでしょう。

ちょっとあきらめて、スポーツは勝つことだけにこだわらず、参加し負けることから学ぶものの方がもっと大きなものがあるような気がします。

## 新会員紹介



原 史郎 会員(はら しろう) 50歳

シロン(株) 代表取締役

職業分類：42 食品 細分類：惣菜

昨年入会のお話を頂きました。1年間迷っておりましたが、50歳になりましたので、思い切って入会させて頂きました。RCの事は良く知りませんので皆様方に教えて頂きながらやらせて頂きますので、よろしくお願い致します。何も取り柄はありませんがゴルフは大好きなので、ぜひ声を掛けて下さい。よろしくお願い致します。



中嶋孝一 会員(なかじま こういち) 43歳

(株)中島製作所 代表取締役

職業分類：18 金属加工 細分類：精密部品化工

縁ありまして入会させて頂きました。素晴らしい、いじめの無い明るいクラブだとお聞きしております。私なりに精一杯させて頂きます。よろしくお願い致します。

## 幹事報告

- ・ ご案内してあります 10/2 のガバナー補佐訪問時のクラブ協議会での質問等の取りまとめの締め切りは 9/18 ですが、出来るだけ早めの提出をお願いします。
  - ・ 諏訪湖RCより「2600 地区を考えるセミナー開催のお知らせ」が届いております。日時・場所は 9/21(金)午後 3 時より・マリオです。出欠を回覧します。
- 例会変更 松本西南 RC=9/18(火) 休会 9/25(火) 夜間例会。ビジター受付は 12 時~1 時 例会場(ザ・ブライトガーデン)にて

## 事務所移転案内

塩尻北RC = 〒399-0731 塩尻市大門 6-4-20 塩尻商工会議所 2F TEL・FAX は変更無し

松本西南 RC = 〒390-0835 松本市高宮東 4-26 TEL0263-27-9720 FAX27-9721

## 委員会報告

社会奉仕委員会 ご協力頂いております「ダメ。ゼッタイ。」の募金箱を次週例会まで受付に置きます。ご協力よろしくお願い致します。

親睦委員会 岡谷エコーRC との合同親睦ゴルフコンペ・合同夜間例会には多くの方のご出席ありがとうございました。



最初に自己紹介を致します。1955年(昭和30年)7月25日未年うまれの獅子座。九紫火星AB型です。

好きな食べ物はセロリと秋刀魚です。鰯(あじ)やめざしも好きです。焼肉も好きです。特にセロリは、なまで塩をつけて食べたらおいしいです。秋刀魚は七輪で焼いて食べるのが一番理想ですが、網焼きでもまあまあ我慢できます。

和歌山県の高野山の山の中で生まれました。三人兄弟の三番目です。団子三兄弟です。兄の長男は岡谷で生まれて東洋文と名づけられました。東洋の文学です。これには父も力を入れすぎました。そのつぎの次男は宮城県仙台市で生まれ「明」と名づけられました。簡単です。三男の私は、生まれたときに母方の祖母、久江おばあさんが山に登ってきました。久江登るで久登です。子供の命名に熱意があったのかどうか疑問に思っていたある日のこと、父の教え子の一人が、流石は宮坂先生、「東洋文」「明」「久登」で東洋文明久しく登るとなっているんですね。流石先生です。これには父も黙っているばかりです。

それはさておき高野山の話です。空海です。高野山は。教科書にも載っています。空海です。弘法大師とも言います。丸山橋をちょっとすぎたうどんや空海も空海ですが、完全に空海にあやかっています。だけどうどん屋に来た客は、本当の空海を知らない人が沢山いるような気がします。照光寺に来てください。住職がいます。寺務長の私はいません。千の風になって、わたしはいません。いや、いるかもしれません。隠れているかもしれません。とにかく照光寺に来てください。明らかにあります。

話は戻って、高野山の話です。高野山は先年、世界遺産に登録されました。躍起になってましたから、遂に登録されました。けれど、高野山行きの電車の本数はどんどん減っているようです。皆さん車で行くからです。車で行って、泊まらずに帰ってくるからです。泊まる時は竜神温泉という離れたところに泊まる人が増えてきました。

けれど高野山には奥の院というところがあって、いかれた方のご存知かと思いますが、戦国大名のお墓から、シロアリのお墓まで、お墓が20万以上あります。数えたことはありません。数える気にはなりません。多すぎるからです。

その高野山にご存知物理学者の湯川英樹博士が来たときのこと。父と当時の高野山の山林部長を務めていた、高田真光というお坊さんが二人で高野山の伽藍や奥の院を案内しました。湯川博士が、人間死んだらどうなるんでしょうね。と質問したそうです。父は学者ですから、仏教的な答えを黙想している間に、高田というお坊さんは、「人間死んだら、みんな土になるんですわ」とすかさず答えたことを自慢げに私に話していました。父はその後なんと答えたのかはまだ本人に聞いたことはありません。今度聞いてみようと思います。さらに偉大な答えがあったはずです。

小学校のころ、私は学校のアンケートで最も尊敬できる人という質問に、友達たちは、ナイチンゲールだとかシュバイツァーだとか答えていたようですが、私は迷わず「父」と書きました。それは、他に有名な人を知らなかったのです。けれど、あとで父は有名な人だと知り

ました。中学校のときに一番尊敬できる人は、兄でした。宿題をやってくれたからです。高校、大学のときに一番尊敬できる人は「母」でした。お小遣いをくれたからです。

そんな話はさておき、私は、中学のときに父から僧名を「宥澄」と授かりました。父の宥勝の「宥」うかんむりに有るの字と、比叡山で天台宗を開いた最澄の「澄」の字をつけてくれました。真言宗なのに、何で天台宗なんだと思いました。それに、「宥澄」って、そんなに悠長にしているよいの？とか郵便貯金は「ゆうちょ」です。とかいわれると、私のことじゃないよねってそのつど思いました。今でも思います。

マジメな話もします。父も好きです。最澄も好きです。特に最澄の「一隅を照らす」という言葉が好きです。一人ひとりの、心を照らす。地位や名誉を超えて、人の目に触れない些細な努力も御仏は、光を下さるのだ。と、思えば、ますます宥澄という名前が好きになりました。「宥」の字は心を広く、人を許す、なだめるという意味があるのです。けどタイプで宥澄という文字を打っていたら、ゆっくりするほうの、「ゆうちょう」が先に出てきてしまいました。

仏教系の大学で、写真部に入ったら、その勢いでカメラマンに転進しました。父には大反対されました。けどやってみたかったのです。お坊さんと違うことが。そのうち、わがままは許されました。母が見方をしてくれたのです。長男ではないので、猶予を与えてくれたのかもしれない。

徳間書店の「週刊朝日芸能」やアニメーション大ブームを起こし始めた「銀河鉄道999」や「マジンガーゼット」の雑誌「アニメージュ」やフリーカメラマンもやっていました。そんなことをしているうちに父が、鹿児島のお坊さんで「池口恵観」という行者さんを紹介してくれました。後の私の師匠となる人です。

その人は東京に事務所を持っていましたので、そこに会いに行ったら、「行」の写真を撮ってほしいというので、鹿児島のお寺まで「行」の写真を撮りにいくことになりました。暑い鹿児島のお寺で、暑い護摩行を汗だくになってやっているのも私も一生懸命撮影しました。一度東京に戻り、写真を現像したのを持って、車で再度機材を積んで鹿児島に入りました。

鹿児島県は、かにの爪のようになっていて、真ん中に櫻島がのどチンコのようにあります。住み込み弟子の様なお坊さんが私に鹿児島案内をしてくれました。私が運転をしました。その人は運転免許を持ってなかったからです。

櫻島に渡ったら、林芙美子の歌碑がありました。林芙美子のお母さんが、櫻島のふるさと温泉の出身の人だったからです。「花の命は短くて、苦しきことのみ多かりき」とあります。これは悲しい歌だなと思いました。あたりは溶岩原です。溶岩の島ですから。櫻島の五合目まで行けば展望台がありました。お店に入ると、西郷隆盛の言葉が書いてありました。「わが胸の燃ゆる思いに比ぶれば、煙は薄し櫻島山」、うん、この言葉がいいぞ、と即座に思いました。

鹿児島市内の寺(最福寺といいます)に戻ると、池口恵観さんが今度は私の母に会いに行きましようといいました。凄い靈感がある人だということです。少し興味がありました。

最福寺は薩摩半島の南、お母さんのお寺は大隈半島の南。正反対です。ちなみに桜島の噴煙は、全県民に嫌われていて、風向きが、夏は薩摩半島に、冬は大隈半島にと容赦なく粉塵を撒き散らしています。喜ぶのは観光客ばかりです。

その人は、「お母さん先生」と呼ばれていました。どんな靈感かと聞いてみたら、大隈半島には、内之浦というところがあって、宇宙ロケットの発射基地になっています。打ち上げの失敗ばかりがよく新聞に出ていました。次のロケットは、何段目のどの部分が悪いから失敗するからとかわかるようでした。知らない土地でも、地球の反対側の土地でも初めての目的地がわかるとか、無くしたものの場所がすぐわかるとか、会っただけで、あるいは名前だけでどんな人かわかってしまうので、会社の人事とか、社長が名前を持って、適材適所を聞きに来ていました。いまどきのスピリチュアルそこのけです。

そのお母さん先生に、池口恵観さんは、やることなすことぼろかすにけなされていました。人をめったに褒めない人だということです。

そのお母さん先生に私は会いました。写真を取らせてくださいといくと、すぐに「あなたはお坊さんになる人だ。それにお月様のように丸い心を持っているひとだ。私もあなたのようにになりたい。」ということです。二人で顔を見合わせて驚き、それから私は、22年間の鹿児島修行生活に入ります。「私も、心を磨くお坊さんにこそなりたかったのです。」

一番驚いたのは、家内です。妻です。カメラマンと結婚した家内は、お坊さんの妻になる決心はまだ出来ておりません。

とりあえず、一年間の修行ということで、一歳の長女を連れて鹿児島に引っ越してきました。ここで大いに喜んだのは、ちちははです。しめたしめたということで、あつという間の一年がたって鹿児島市に迎えに参りました。

すると、一年かけて、やっと池口先生と呼ぶことに成功した、池口先生が「もう少し預らせてください」というではないですか。こんどはわたしが「しめたしめた」と思いました。

それから3年後、桜島で世界最大の大柴燈護摩を厳修することになるのです。中央が高さ23メートル、周囲の4つが12メートルの高さです。

そのときは、兄も来てくれました。人から見れば、そっくりらしいので、宥澄先生はこの大事なときに、ぶらぶら歩いていたけど、大丈夫なのかしらと、そうとう多くの人心配してくれていたようでした。

その大柴燈護摩行が無事終わって、そしていまこそ、と父がまた迎えに来てくれるのですが、池口師匠と、ナンバー2になった私とは、そのときすでに完全に息が合っていました。しかも、二人目の子供が生まれるときでした。

子供といえば、最初の子供は、東京の産婦人科でラマーズ法という自然分娩を促す呼吸法を取り入れた病院で出産だったのですが、結果は帝王切開で、院長曰く次の二人目を生んだとしても帝王切開で、お子様は二人どまりですよ。といわれました。まさに、その二人目の子供が鹿児島の病院で予想に反して自然分娩で生まれたときでし

た。池口先生の寺での修行は、人の体や心の色々なマイナス面をプラスになるように祈る祈願の修行だったのです。

父は何も言わず、岡谷に帰りました。これもまた凄い包容力です。最初から最後まで。流石、私が小学校のときに、「最も尊敬する人」と書いただけの人でした。

ちょうどそのころ、大手宗教新聞の主筆が、宮坂宥勝先生も変わった子供を生んだもんだと私にいいました。父は学者だからです。私は、主筆に言い返しました。「生んだのは、父ではない。母です。」と。

それからというものは、二人目、三人目、四人目、五人目とあれよあれよというまに子供が、すべて、安産自然分娩で生まれ、宥澄さんは枕元を通り過ぎるだけで、子供が生める人だといわれるようになりました。私は言い返しました。「生むのは私ではない、家内です。妻です。」と。

家内は、最初の子供の幼稚園の入園式の際に、「一生に一度のことだから来て頂戴と私に言いました。」

私の修行生活は当時、毎朝、五時半から夜の12時までの、一日18時間以上の猛烈修行でした。とんでもない。行けるものかね。と何度も断りましたが、「一生に一度のことだから。」と家内が何度も言うので、清水の舞台から飛び降りたつもりで、必死で都合をつけて、入園式に行ったら幼稚園の入園式なんてお母さんばかりで、お父さんなんか二人しか来ていませんでした。「だまされたっ。」と思いましたが、ときすでに遅し。

熱心なお父さんだと勘違いされた私は、さっそく園長先生からPTA会長に推薦され、それ依頼子供が多いから、12年間もPTA会長を務めて、その間鹿児島県私立幼稚園のPTA連合会会長、全九州のPTA連合会副会長、もう一人生んでいたら間違いなく全国に行ってしまうところでした。

その間、鹿児島入りをしましてから6年後に、32歳のときです。念願の真言宗最大の護摩行、八千枚護摩行を私は修行成満しました。そのときでした。無謀にも勧められて、鹿児島東南ロータリークラブに入ったのは。

数えてみたら、16年間在籍しておりました。お役は一切出来ませんでした。それを思えば今こうして例会に出てこれるのは夢のようです。

さてさて、本番の修行の話は時間切れで次回になってしまいました。

皆さんまたお会いしましょう。お元気で！

## ニコニコボックス

8月28日

井上保子・今井 紅・牛山幸一・大橋正明・尾関秀雄・笠原祥一・小松洋司・佐藤有司・白鳥修次・高木昭好・林 靖高・平沢清文・宮坂 伸・宮坂宥澄・宮沢由己・山崎典夫 岡谷エコーRCの皆様、ようこそいらっしゃいました。

小口泰史・河西 洋・竹村一幸・濱 俊弘・山岸邦太郎 合同コンペ参加の皆様お疲れさまです。

親睦委員会 今日合同親睦ゴルフコンペにご参加頂きありがとうございます。

藤森睦美 8月26日 サイトウキネンでチャイコフスキーのオペラ「スペードの女王」を鑑賞しました。久しぶりにオペラらしいオペラでした。

9月4日

小口泰史・笠原祥一・北村正春・佐藤有司・竹村一幸・林 靖高・藤森睦美・宮沢由己・矢崎宏明・山岡正邦・山岸邦太郎 宮坂宥澄会員 卓話楽しみにしています。

宮坂宥澄 本日、卓話をさせていただきます。

井上保子・牛山幸一・大橋正明・小口雅弘・尾関秀雄・小野 仁・河西 洋・小松洋司・高木昭好・塚田昌滋・濱 透・林 裕彦・林 靖高・平沢清文・宮坂宥澄・矢崎宏明・矢島 進・矢島 實・山岸邦太郎・山崎典夫 新会員の原会員、中嶋会員、ご入会おめでとうございます。

原 史郎 新会員の原史郎です。何も分かりませんが、一生懸命やりたいと思います。宜しくお願い致します。

中嶋孝一 新会員ですが、精一杯やりたいと思います。よろしく願い致します。

濱 透 過日の岡谷エコーとの合同ゴルフコンペに優勝する事が出来ました。

小口哲男・小口俊光 欠席が続きましたので

## 出席報告

8/28 会員数47名、出席者32名、出席率68.09%、前々回訂正76.60%

9/4 会員数49名、出席者42名、出席率85.71%、前々回訂正87.23%

2007-2008年度R Iテーマ  
ロータリーは  
分かち合いの心  
ROTARY SHARES

